

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	生徒・進路指導論				
担 当 者	田中達也				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4	4.9	4.9	4.9	5	
学生へのメッセージ					
<p>本授業の目的は、生徒指導・進路指導及びキャリア教育のための知識や技法の習得だけではなく、生徒指導や進路指導及びキャリア教育の対象、意義、目的を追求する中で、学生の皆様が、対話的な講義を中心に共に考え、語り合い、児童生徒に寄り添う支援者（教員）として求められる資質・能力の育成を目指すことであります。</p> <p>実際の授業におきましては、皆様が時々の話題に応じて自身の考えを積極的に交流し、議論を深める姿が印象的でありました。特に、教師と児童との合意形成に関する話題では、教師からの一方向的な教授ではなく、児童とともに学びを創り上げていくことを重視されており、感心しました。教職とは別の進路に進まれる方もおられましたが、現代社会における教育課題の解決に向け、仲間と議論し、高め合うことができているのではないかと思います。</p> <p>本授業での学びは、学校教育現場のみにしか活用できないものではなく、社会人としての対人関係能力の向上や自身のキャリア形成への新たな視点の獲得、発達にもつながるものであったと思います。短期的な資質・能力の向上だけでなく、中・長期的な視野をもってこれからのご自身のキャリアを考えてください。その際、何度もお伝えしたように、相手に誠実であることを忘れずに、対話を重ね、納得解を創造することが重要です。</p> <p>皆様のさらなるご活躍を期待しております。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	教職論				
担 当 者	山下敦子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.4	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>教職論では、教職の意義、目的、役割について講義をしました。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭は、教育のプロフェッショナルとして、また、エッセンシャルワーカーとしての役割が求められます。平常の対応、非常時の対応、保護者、地域との連携などその役割は多岐にわたります。これから実習に臨むにあたって、常に「自分だったらどのような行動をとるか」ということを考えながら、行動して欲しいと思います。感想をみませていただくと、「教育現場のことがイメージできた」「教職の基本がわかった」「将来に役に立つ内容だった」という意見がありました。教職には、正解はありません。その時々「納得解」「最適解」を考え続けることが大事です。授業で得た知識や考え方を実習などで実際に活用してみてください。今は自信がなくても、経験をし続けることが大切です。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	子どもの表現文化				
担 当 者	山田秀江				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.9	4.9	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>「授業に意欲的に参加した」という項目で、全員の回答が「そう思う」であったので、関心をもって取り組んでくれたことが分かりました。子どもに豊かな児童文化を伝えるため、その知識や技術を身につけてもらおうと、多くの内容を短時間で実施しました。それでも、みなさん積極的に楽しみながら取り組んでくださって、こちらも楽しくやりがいがありました。一人一人の実践と協働での活動、ともにみなさんがこれまで培ってきた能力の高さを感じました。今後の授業の改善として、授業内容の精選と一つ一つの内容を深化させていく方法を検討したいと思います。最後に保育現場や身近なところで子どもたちに児童文化を通して豊かな情操を培っていただければ嬉しいです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	保育指導法 AB				
担 当 者	山田秀江				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.8	4.8	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>全体的に高い評価をいただきました。学生の皆さんが主体的で熱心な授業姿勢がありました。こちらは大変やりがいがあり学ぶことが多い授業でした。模擬保育の実践を行いました。模擬保育を実施したグループや子ども役のグループ、観察グループとそれぞれの立場で、よく考え活動しておられました。反省会では、模擬保育をそれぞれの立場から省察し、よりよい保育を実践するための知識や実践力が深化していったと思います。また、授業時間外にグループで教材研究や指導案の改善など協働的に取り組んでくださったことも素晴らしかったです。今後の改善として、指導案作成に関するより細やかな指導に努めたいと考えています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	教育と情報				
担 当 者	大森雅人				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.5	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>新型コロナの5類移行に伴って、安定して対面授業の実施が可能となりました。本授業もすべて対面で実施しましたが、この授業で作成した教材動画作成の技術は、次の有事の際に遠隔授業を作成する場面で活用可能です。そんな事態は来て欲しくありませんが、さまざまな不測の事態にも対応できることが大切です。</p> <p>振り返りのmanabaレポートでは、相互閲覧機能を用いてお互いのレポートにコメントを付ける課題も取り入れました。ここでは、去年の先輩達の授業でも見られたような学生間の交流がありました。これは、本当に嬉しく感じています。「教育と情報」という授業の土台の上に、私と皆さんでの相互の学びの共同体が形成されていたように思うのです。</p> <p>これから、教育・保育・福祉の現場や一般企業などに巣立っていく皆さん、今回経験したようなことは、アフターコロナの社会では、形態の違いはあるでしょうが、ますます多くなっていくと考えられます。経験を通じて得られたことを、しっかりと活かしてください。</p> <p>不確実なことが多くなる未来社会を、力強く歩んで行かれることを、心から願っています。皆さんの活躍に期待いたします！！</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	保育内容（環境）				
担 当 者	大森雅人				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4	4.1	4	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>新型コロナウイルスも5類に移行して、授業運営も落ち着きを見せてきました。高校時代から始まったコロナ禍で、当たり前前の高校生活や学生生活が制約を受けてきましたが、これからは、感染対策に一定の配慮をしながらも、大いに学生生活を楽しんでほしいと思います。</p> <p>本授業では、ほとんどの授業回で、授業を振り返るレポートを課しましたが、ひとりひとりの内容を見てみると、過去の先輩達が見せてくれたのと同様の、学びの深まりを感じました。皆さん、とても深く考えておられたと思います。</p> <p>そして、相互閲覧形式でコメントを付け合う形式も実施しましたが、こちらでも単なる賛辞ではなく、意味を読み取った深い内容のコメントが多々見られました。保育内容（環境）のmanaba上に、皆さんの学びの共同体が形成されていたと感じています。こうしたことは、対面型のコミュニケーションではなかなか経験ができなかったことなので、皆さんの学びに新たな可能性を感じています。</p> <p>本授業で学ばれたことは、現場での保育実践において、その質を大きく左右するものとなります。皆さんの中に、大切な部分が定着していることを強く願っています。</p> <p>本授業と対をなす授業「子どもと環境」が、4年生後期にあります。2年後に、再び皆さんと領域「環境」に関わる内容でお目にかかることになります。そこでは、今回の授業で伝えきれなかったことをお伝えします。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	子育て支援				
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.7	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>将来皆さんが就職される先には必ず保護者がいます。保護者と一緒に子どもの成長を見守るために、保護者の悩みを聞き、相談に乗り、寄り添いながらサポートできる知識や技術が必要になります。今回の演習でディスカッションしたり、発表したことをぜひ現場でも活かしていただければと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	情報基礎				
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.7	4.7	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>今回の演習で学んだ知識や技術は、上回生になっても、卒業して専門職業人になっても必ず求められる能力です。そのため、継続して学び続け、スキルアップしていくことが重要です。実践の場で生かすことができるように、演習内容をふりかえって、苦手な課題をできるだけ克服するようにしておきましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	保育実習指導Ⅲ				
担 当 者	橋本好市・大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4	4.4	4.4	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>保育士養成課程最終の臨地実習であることから、履修者はある程度の知識とスキルを習得しているという前提で講義を進めてきました。しかし、講義担当者にも修正すべきご意見をいただき、真摯に受け止め次の学年へと活かしていく所存です。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	社会福祉				
担 当 者	橋本好市				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.6	4.4	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>貴重なご意見をありがとうございました。今年度後期及び次年度に活かしてまいります。講義教室の環境如何において、受講のしにくさがあると思われませんが、それだけ歴史の深い大学であるとの建設的なご理解をいただけますと幸いです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	保育原理				
担 当 者	中田尚美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	3.7	3.6	3.8	3.7	
学生へのメッセージ					
<p>保育原理では、保育の原則や根本法則、つまり保育において最も大切にしなければならない本質について学びます。保育原理の学びにおいて、保育の諸問題に通じる保育の基礎的な理解を確かなものにしてほしいと思います。</p> <p>今、保育の世界は大きな転換期を迎えようとしています。保育所と幼稚園の一体化が進んでいます。また、少子化を背景に、子育て支援の政策展開が行われています。このような動きを十分に理解した上で、保育者としての歩みを確かなものにしていただきたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	保育の心理学				
担 当 者	柳原 利佳子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.3	4.3	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>高評価をいただきありがとうございました。この科目は科目名に「保育」とあるように、発達心理学の中でも乳幼児期の発達に重点をおく形で開講しているものです。また、今年から私がこの科目を担当することとなったため、1年次に開講した発達心理学と同じ3年前期に開講している教育心理学と保育の心理学の3科目の内容を調整し、同じ内容が重複しないようにしています。</p> <p>特にみなさんにとっては、教育心理学と同時期開講ということもあり、心理学の専門用語や研究者名などたくさん出てくるので、各回の復習が大変だったかもしれません。ただ、評価方法など大きく変えると却って混乱を招くと思い、小テストや提出物等の平常点も重視し、教育心理学と同じような評価方法で実施しました。</p> <p>また、今回の調査では自由記述の記載がありませんでしたが、各項目の回答内容を見ると、1～2名の方の回答に1あるいは2という否定的回答がみられました。高評価に甘んじることなく気を引き締めて注意していきたいと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	教育心理学				
担 当 者	柳原 利佳子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.3	4.3	4.3	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>この科目は心理学の専門用語や研究者名などたくさん出てくるので、各回の復習が重要です。3年生前期の卒業必修科目でもあり、小テストの結果が思わしくない場合には、授業時間外の1枚まとめの提出をうまく活用されている方もいらっしゃいました。</p> <p>自由記述では、スライド作成、話し方、授業内で出した質問への対応の仕方がよくないとのこと指摘がありました。特に授業内発言への対応は複数の方から意見があがっていました。発言に対しては加点の機会を作るつもりで、正解不正解を問わず積極的な授業への取組として加点をしていたのですが、不正解の場合の対応が悪く、却って発言しにくい雰囲気を作ってしまったとのことでしたので、気をつけたいと思います。特に今年からはカリキュラムが変わり、1年生後期科目として今年度は後期にも開講していますので、早速いただいた意見を注意して授業に臨みたいと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	カウンセリングの技法				
担 当 者	柳原 利佳子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.3	4.4	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>この授業カウンセリングにおけるさまざまなテクニックを紹介するものでしたが、同時にピアヘルパー資格試験の中心的科目となることもあり、カウンセリングの中でもピアヘルパーという領域に特化した内容でもあります。ピアヘルパーに特化したという点では、他の授業ではあまり扱わない内容も多くありました。資格試験の受験を念頭にもおいているために、数多くの専門用語の理解も必要とされます。今後受験を考えている方は、各自で是非定期的に復習をしておいてください。</p> <p>資格試験を受験しない方にとっても、今後の教育・保育の現場で子どもたちの話、保護者の話、同僚の話などさまざまな場面で思い出して活用していただきたいと思います。</p> <p>定期試験の解答内容を見ると、言語的技法についてのグループワークの時間をもう少し長めに取った方がわかりやすかったのかもしれないと思っています。</p> <p>自由記述からは、話し合いの様子を私自身がきちんと把握することができず、不愉快な思いをさせてしまったこともわかりました。グループワークの活動に対して、今後は注意します。ご意見いただきありがとうございました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	小学校英語				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.8	4.9	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>この授業は、小学校で英語を授業で教えるために必要な英語運用力を磨くことと、背景的知識を身につけることでした。どのくらい達成できたでしょうか。</p> <p>グループで協力して計画し、実施した模擬授業は素晴らしかったです。絵本を読み込む力も、企画をする力も、グループで協力して作り上げる力も、みなさんに備わっていることがよくわかりました。これは小学校教員として大事な資質です。これからも大事にしてください。</p> <p>一方、英語運用力向上の方はまだまだ頑張ってもら必要があります。学習の方法などでアドバイスが必要な時はいつでも研究室を訪ねてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	教科指導法 (外国語)				
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.7	4.8	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>この授業は、小学校で「外国語活動」「外国語」を教えるために必要な知識と技術を高めることを目標にしていますが。どのくらい達成できたでしょうか。</p> <p>中学年での「外国語活動」、高学年の教科「外国語」は、みなさんが生徒として受けたことのない授業です。そのような科目の模擬授業を行うことはとても難しかったと思います。それでも工夫を凝らしたり、グループで協力したりする姿を見せてくれたことはとても嬉しく思います。小学校の英語教育について、みなさんに伝えたい事はまだまだあります。残りの1年半で伝える機会が持てたらと思っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	施設運営・防災と危機管理				
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.8	4.8	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>保育園・幼稚園、小学校の教員になった際に、授業で学んだことを活かし、子どもたちの安全を守ることで先生になってください。子どもたちの命は、家庭だけでなく学校そして社会でまもっていかなければなりません。その一躍を担う教員として、防災・防犯に取り組む教員になってくれることを期待しています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	乳児保育 I				
担 当 者	松尾寛子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	3.6	3.6	3.7	3.8	
学生へのメッセージ					
<p>授業がうるさいという声がありました。授業中に何度か注意をしても静かにならないことがあります、授業進行上、やりにくさを感じることもありました。</p> <p>私語が多い学生さんは一部だと思いますが、複数個所で私語があると、その周りの人は迷惑します。自分の私語が周りに迷惑をかけているという自覚をもって取り組む必要がある学生さんが複数いるのが現実です。また、授業内容に関連する話以外はしていません。授業に関連があるかどうかということは、授業を聞いていればわかるはずです。まじめに聞いてくださっていた学生さんがいるのもわかっています。</p> <p>お互い、気持ちよく授業を進めていけるように、授業で私語をしていた学生さんにこの声が届くといいなと思っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	保育実習指導Ⅱ				
担 当 者	松尾寛子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4	4.7	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>4年生という自覚をもって実習や実習指導の授業に取り組んでおられました。この取り組み姿勢は実習先からの評価に連動しているように思います。</p> <p>さすが4年生だと思います。就職してからも期待できる取り組み姿勢でした。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	保育・教育課題研究Ⅱ				
担 当 者	松尾寛子ほか				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.7	4.7	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>保育者養成コースと教員養成コースに分かれて授業を進行していました。          これからの課題を持つことができた、などの意見もあり、積極的に取り組んでいる姿勢がこの評価から伺えました。</p> <p>採用試験にかかわる勉強の授業なので、できれば午前中に実施してほしい、5限は眠気との戦いになり、問題に集中しきれない日が多かった、との意見もありました。</p> <p>そのような意見は学科で共有できたらと思いますが、5限に実施される他の科目については、直接的に採用試験にかかわらないものもあるかもしれませんが、就職してから子どもの前に立つために必要な知識や技術を授業の中でお伝えしていますので、どの授業も眠気に襲われないように、規則正しい生活を送りつつ、授業に臨んでください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	体育				
担 当 者	近藤みづき・三木伸吾				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.7	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>アンケートへの回答ありがとうございました。授業評価結果から、おおむね皆さんが満足する授業が展開できたと思います。これも、皆さんは授業で提示された運動やグループ発表をしっかりと実践されたからだと感じています。</p> <p>この授業は、皆さんに目の前のこどもに対して、動きの問題点を見抜き、どのように教えるかを考える等、運動指導力の基盤を習得することを目的に実施しました。そのためには、単に体を動かすだけでなく、将来教師や保育者になる人として、各種運動の意味や特性を理解したうえで実技に取り組むこと、さらに、理解したことを振り返り、他者に伝えることを期待しました。皆さんには、授業で行ったことを、振り返り、実習時や将来、教員や保育士になった時に使えるように、今後自分自身で学習を深めてもらいたいと考えています。</p> <p>最後に、授業の欠席やこと、レポート提出を忘れる方がいたことは残念でした。今後の学生生活の中で改善することを心掛けてほしいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	特別活動の指導法				
担 当 者	京極重智				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.8	4.8	4.9	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>本講義は特別活動を扱うものですが、受講生を模擬的な学級として見立てると、本講義自体が模擬的な特別活動になりえる特殊な講義です。受講生のみなさんも、単に一つの授業として知識や技能を学ぶのみならず、授業を主体的に受講することを通じて、特別活動のねらいや目標を模擬的に体験できたのではないのでしょうか。</p> <p>今年度は例年にくらべ極めて高い授業評価となりました。前年度と比べ工夫した点として、模擬授業に対して、担当学生をふりかえりグループのなかに割り振り、対話する形でふりかえりを行った点があげられます。また、講義部分についても、例年どおり学生がレジユメを作成する形で行い、補足などは教員によって行うという形式をとりました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	教育の思想と歴史				
担 当 者	京極重智				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	3.9	4.2	3.9	4	
学生へのメッセージ					
<p>免許必や卒必ではないため、必ずしも座学中心の講義内容にする必要はないと思うのですが、思想や歴史を扱う分、どうしても一方的に聞く時間が多くなってしまいう講義でした。</p> <p>アンケートの回答率が半分にも満たないのでどこまで有効な回答かわかりませんが、次年度以降に向けて、受講生が多くとも、学生が中心となった活動を取り入れられないか工夫の必要があると考えています。この授業の評価にかかわらず、教育について思想や歴史的な観点から考えることは忘れないでいてほしいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	保育内容（健康）				
担 当 者	中西利恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.4	4.3	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この授業では、前半は「乳幼児の心と体の健康」について、就学前の子どもの発達の実際の姿から理解を深めるため、映像と解説から学びました。理解を深めました。年齢ごとの発達についての動画と解説は、イメージがしやすく、関心をもって受講している様子がみなさんの提出した『授業ファイル』からうかがえました。マーカーで印を付けたり、メモを書き込んだりしている学生さんがたくさんおられ、主体的に学びに取り組む姿勢がみられ、嬉しく思いました。「こんなときどうする？ノート」を活用している学生さんが、特にAクラスに多く見られ、熱心に知識を吸収しようとしている姿勢に感心しました。今まで、就学前の子どもと直接接する機会はほとんどなかったそうですし、特に乳児についてはほぼ全くのことでしたので、この教材を使つての授業により、子どもの発達や発育について理解を深められたと思います。</p> <p>後半の「健康な心と体を育む保育の実際」では、運動あそびの模擬保育を実施しました。使用する教材（遊具、運動用具）については、園で活用度の高い5種類を指定しました。1グループ4名以下で、全員が先生役、こども役を経験しました。自由記述に「模擬保育などの実習を通していろいろな経験ができた。言葉がけや環境構成など。」「実習で活かせるような指導案の書き方や実践を学ぶことができて良かった。」とあり、学びが得られたことが記述されていました。うれしいです。</p> <p>指導計画の作成や実践の打ち合わせや練習についても協働性を発揮し取り組んでくれたと思います。主体的に熱心に取り組む姿勢はもちろん、各グループの実践後すぐの私からのコメント（助言等）を、とても真剣なまなざしで聞き、メモを取る姿が印象でした。自班の実践からはもちろん、他班の実践からも学ぼうとする姿勢に、「先生」をめざすための資質を感じ、頼もしいと思いました。自己評価（ふり返しシート）や他者評価（コメントシート）を通して、学びを深めてくれたのではないかと思います。</p> <p>なお、自由記述に「生徒と話するときや個々で配布物を渡すときによそ見しないで欲しい。」が1名、「言い方がきつい。」が1名おられました。今後は気を付けたいと思います。</p> <p>みなさんの『ふり返しシート』からは、模擬保育の実践から今後の実習で活用しようとする具体的な気づきや意欲がみられました。しかし、『ワークシート（指導の計画）』については、</p>					

学生間で差がありました。丁寧に記述することを心がけていってください。

保育の実際についてもっと学びたいと考える学生が多いことがよくわかりました。実習に向けて、しっかり準備をしていこうという意識が伝わります。今後もその心がけを継続していってください。私も演習授業内容に実践を取り入れ、工夫していきたいと思います。

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	子ども健康				
担 当 者	中西利恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.6	4.7	4.7	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>4 年生前期は、保育実習 II 及び保育実習 III の実施やそれへの対応の補講日程の設定、また就職活動が重なり、なかなか落ち着いて授業に取り組みにくかったかもしれませんね。そのような中、みなさんは、4～5 月の最後の実習体験を活かした課題への取り組みでは、各グループともに丁寧な分析作業を実施し、保育者としての専門性の向上に役に立つ発表内容でした。</p> <p>子どもの健康にかかる複数の課題に、グループワークを基本に協働性を発揮しながらがんばって取り組まれていたと思います。授業評価が、「授業内容」「授業方法」「学修成果」の 3 つ共において、学科平均から 0.2 ポイント～0.3 ポイント高かったことから、さらに自由記述からも、みなさんが学びを深められたことがわかり、うれしく思います。</p> <p>一点、自由記述に、グループ分けにおいて A クラスと B クラスを混合した方が良いという意見が 3 件ありました。乱数表を使って課題毎に新グループを作成する方法を取りましたが、誰と一緒になるかわからないとはいえ、クラスが違っては名前もわからないのではないかと考え、A と B で分けました。次年度からはみなさんの意見を参考に、A・B クラス混合でグループ分けする方法に変更したいと思います。ご意見ありがとうございました。</p> <p>この時期は、どうしても落ち着かないとは思いますが、全ての実習を完了させた皆さんだからこそ、就職に向けて最後の学修の期間を、やる気や意欲を減退させることなく、卒業後保育者として求められる専門性や実践力をもっと向上させてよろう！と貪欲に学んでください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	教科指導法特論Ⅱ				
担 当 者	牛頭哲宏				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.6	4.8	4.8	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>小学校教員になるために本学に入学し4年間コツコツと努力を重ねた皆さん。採用試験の結果によって、ホッとしている人もいれば、再度受験するために新たな闘志を燃やしている人もいることでしょう。</p> <p>結果はどうあれ一生懸命取り組んだ事は全て自分の財産になります。大事なことは、精一杯生きることです。常に前向きに生きることです。与えられた寿命が尽きる日まで絶えず様々な物事に深く感動し、何かに没頭して生きることです。これ以外に人生の成功と呼べるものはありません。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの保健				
担 当 者	唐木 美喜子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.0	4.1	4.0	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>今までにない評価の低さに頭を抱えています。改善すべき点が山積みです。一つひとつ考えながら整理していこうと思っています。</p> <p>1限目の講義で、朝早くからの登校でしたが、皆さんは、いつも真面目に課題に取り組み、とても熱心に講義を聞いてくれている姿勢に感心しました。分からないところや解釈に悩むところを聞きに来てくれる人も、今までになく多かったので頼もしく思いました。とても楽しい毎日が送れたことに感謝しています。ただ、受講生が多いので部屋が狭くて窮屈だったと思います。</p> <p>私は毎回の3つの質問の回答をいつもとても楽しみにしています。質問の回答でディスカッションができれば、もっと面白かったと思います。年々、答えの様相が変わってくるので、時の変化に驚いたりもしました。楽しい回答をありがとうございます。</p> <p>教科書の内容だけでは、全てが伝えられないと思い、資料を足していった結果、毎回、内容が多い講義となってしまいました。しっかりついてきてくれたことに感謝しています。子どもに関わる仕事をを目指す人には、知っておいてほしいことがたくさんあり、講義ではまだまだ伝えきれいていません。後は、君たちがこれからの授業の中で積み重ねてほしいと思っています。</p> <p>子どもと大人は違います。子供には無限の可能性があると思っています。その子どもにかかわる仕事を選んだことに自信を持ってください。子どものことを知れば知るほど幅広く奥深い知識が必要になってきます。子どもは日々関わる教師の影響を全身で受け止め、それを大人になってもよく覚えています。大きな可能性を秘めている子どもの全てに興味をもち、子どものことをよく知って、子どもに寄り添い育み、適切な対応ができる保育士になってほしいと願っています。</p> <p>課題の提出は、大変だったと思いますが、親御さんとの会話のきっかけになり、子どもの頃の自分を振り返るきっかけになったのではないかと考えています。</p> <p>膨大な資料は、教科書と共に見てもらえるよう配布しました。今度は、君たちが教える立場を目指して進んでいくわけですから、どんな保育者になり、どんな子どもを育てたいかをしっかり</p>					

り持って頑張ってください。

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	教科指導法(体育)				
担 当 者	田中 稔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.9	4.9	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>私はあなたたち学生が、将来の良き指導者になってくれることを願い指導してきました。この先、教育実習を経験し、ますます指導者になる意思を強固なものにしてくれることを願っています。私は指導者に求められる資質で最も大切なのは、本当の優しさだと考えています。優しさは厳しさと表裏一体です。子どもたちに真に寄り添い、共に笑い、共に泣き、共に怒り、共に悲しみ、共に歩める指導者になってくれることを祈っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーション1				
担 当 者	千石真理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.7	4.8	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>英語が苦手だという学生も頑張って参加している姿が見えました。ますます国際化が進み皆さんの職場でも英語を話す必要性が高まると思います。これからも英語の勉強を継続してください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	図画工作 I				
担 当 者	藤本由佳利				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	5.0	5.0	4.9	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>一年生全員の授業での個人指導なので、一回の授業内で回りきれない事が多くて反省しています。しかしながらみなさんが、大変よく頑張ってくださった事を嬉しく思っています。また、とても親切にしてくださってありがとうございました。</p> <p>今後とも頑張りや人間性を大切にして、将来をよりよくされる事を願っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	教科指導法(家庭)				
担 当 者	田中ヒサコ				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	3.9	3.9	4.1	3.8	
学生へのメッセージ					
<p>学校現場に出たら、学んだことに自信を持ち多様な生徒が居る中、一人ひとりの生徒に寄り添う授業ができる先生になってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	子どものリスクとレジリエンス				
担 当 者	松野敬子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	5.0	5.0	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>保育現場、教育現場での事故が散発的におき、本授業は社会の関心が高いテーマとなっています。しかも、保育や教育の現場には、事故防止という視点を持つ職員はまだまだ少なく、さかんに研修が行われている状況です。</p> <p>保育の現場を持ちつつ、日本での最先端の事故防止の情報を基に授業を組み立てています。これから子どもたちの保育や教育に携わろうという人、子どもにまつわる商品やサービスを提供する企業を目指す人、また、そうでなくても、将来、子どもを産み育てる時がくるかもしれない全ての人たちに、必ず役に立つ知識だと思えます。</p> <p>子どもたちが、安心してすくすくと育つ社会を創るために、若い皆さんの力を発揮してくださいね。熱心に授業を聞いてくださってありがとうございます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	理科指導法				
担 当 者	田村 壽秀				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.5	4.4	4.6	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>後期の教育実習も頑張ってください。終わって「楽しかった」「子どもたちが可愛かった」と感じた先生は素晴らしい先生になれる素質があります。何回も話したように、教師の仕事は子どもの将来に渡し、影響を及ぼす大切な遣り甲斐のある仕事です。どの先生も、子どもの一生を左右する大切な人間性を育み、子どもたちと一緒に成長できる仕事です。皆さんからの吉報を楽しみにお待ちしております。感謝を込めて、さようなら。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	小学校音楽				
担 当 者	瀬川和子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	3.2	3.2	3.5	3.3	
学生へのメッセージ					
<p>I では意欲的に参加したとの結果が出ています。II・III では受講生の中に充分授業内容を理解できていない人がいたことは残念でした。学生個々に対応しようと心がけましたが、それでは不十分と感じられたようです。このことに関しては、授業の感想を毎回聞き取ることで疑問点等に答えていきたいと考えています。学生のみなさんも、小学生の立場、指導教員になる立場の両方をイメージできるように心がけていってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	算数				
担 当 者	平田 秀己				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.9	4.9	4.9	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>○3年次の模擬授業、教育実習の基礎を培うことを見据えて算数の講義を進めて来ました。熱心に講義を受ける様子に感心しました。これからも素晴らしい先生を目指して学習に取り組んでください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	教科指導法（算数）				
担 当 者	平田 秀己				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.8	4.8	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>○教育実習で実践できるスキルを身に付けることができることを視点として講義を進めて来ました。模擬授業や模擬授業へ向けての準備に熱心に取り組んでいました。とても感心しました。これからも素晴らしい先生になるために学習に取り組んでください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	子どもの食と栄養 I AB				
担 当 者	進藤 容子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.8	4.8	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>前期の「子どもの食と栄養 I」では、皆さん熱心に取り組んでいただいたと思います。授業評価から、調理実習での学びの質が高かったことがうかがわれました。今後も工夫を重ね、より充実した実習をしていこうと思います。</p> <p>また、授業の中で、教員の私的な意見を表明することについて疑問を感じられた方がおられたようです。このように、意見について疑問に思う学びの姿勢は重要だと思いました。どの意見についての指摘が具体的にわかりませんが、私自身は先行研究などを踏まえて意見を構築しようと心がけていますので、学生とさらに意見交換しやすい授業環境を整え、活発に話し合えると嬉しいです。後期「子どもの食と栄養 II」では、子どもの食について、どう考えていくことが適切なのかを、根拠を示しながらみんなで考えあう時間を取っていきます。一緒に学んでいきましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	図面工作				
担 当 者	蓮尾正子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.8	4.0	4.8	4.4	
学生へのメッセージ					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業内容が盛り沢山でしたが、毎時間とても真面目に取り組んでいました。一人一人の個性が発揮された素晴らしい作品ばかりで、先生は嬉しく思いました。</li> <li>●復習と予習のワークシートを毎時間提出出来ていました。内容も一生懸命まとめた努力がわかるワークシートばかりでした。</li> <li>●授業の準備と後片付けも、一人一人が自覚して、協力しながら出来ていました。素晴らしいチームワークでした。担任になったら協働を心掛けて下さい。</li> <li>●前期で体験した学修内容を、次は担任として「どうしたらいいかな？」と考えて下さい。そして、子どもが「図工大好き。次は何するん。」と思える授業を心掛けて下さい。</li> <li>●子どもの笑顔、子どもが好きと思える先生になって下さい。皆さんなら必ずなれると思います。</li> <li>●説明がまわりくどく端的でなかった点、急がせる発言をしたことは、今後改善していきます。</li> </ul>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	子どもと造形表現 A				
担 当 者	山成昭世				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.3	4.2	4.3	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>当該学生でないかもしれないが、何度注意して授業態度が改まらなかった時、きつい口調で注意するときもあった。教員は指導において熟考し、双方が啐啄同時のチャンスを逃さないように心がけ授業に臨みたい。</p> <p>このクラスの皆さんは楽しみながら積造的に造形活動に取り組んでおりその結果、それぞれが充実した作品制作となっていた。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	子どもと造形表現 B				
担 当 者	山成昭世				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.3	3.9	4.3	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>当該学生でないかもしれないが、再三にわたり注意しても届かず勝手な行動をする学生もおり、きつい口調で注意するときもあった。</p> <p>教師は言葉がけを熟考し、学生と共に啐啄同時のチャンスを逃さないように心がけ授業に臨みたい。多くの学生さんは積造的に造形活動に取り組んでおり、その結果、それぞれが充実した堅実な作品制作となっていた。</p> <p>時間配分については板書し作業の配分を可視化して示したい。</p> <p>教科書その他、については、授業時間に説明する。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	社会的養護 I				
担 当 者	川島直子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.4	4.4	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>皆さん、真面目に授業を受けておられ、質問などもありとても意欲的に取り組まれていました。前期で学んだことを後期の社会的養護 II でも活かしていただけましたら嬉しいです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	障害児の理解と支援 I				
担 当 者	川島直子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.4	4.5	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>グループワークでは、様々な意見が出たことに、皆さんはとても真剣に聞いておられ、それが良かったと言ってくださった方が多かったので、この授業で学んだこと知り得たことを実習などでしっかり活かしてください。頑張ってください。</p>					